

SenderBase ではどのようなブラックリストが使用されますか。

目次

[はじめに](#)

[SenderBase ではどのようなブラックリストが使用されますか。](#)

[関連情報](#)

概要

ここでは、SenderBase で使用されるブラックリストについて説明します。

SenderBase ではどのようなブラックリストが使用されますか。

SenderBase レピュテーション サービス (SBR) には、リモート ホストの接続 IP アドレスに基づいて、スパムを送信することが疑われるシステムを拒否したり、制限したりするための正確で柔軟な方法が備わっています。SBR は、特定の送信元からのメッセージがスパムである可能性に基づき、-10 (スпамと特定) ~ 0 ~ +10 (スпамでないとして特定) の範囲のスコアを返します。

IP アドレスの SBR スコアの重要なコンポーネントは、他の DNS ベースのブラックリストに含まれています。SBR は、さまざまな方法で重み付けされている DNS ベース ブラックリストを 24 個以上使用し、SBR スコアを判別します。一部のブラックリスト (SORBS など) では、実際には、システムがデータベースにリストされている理由に基づいて、複数のリストが関連付けられています。SBR スコアには他のコンポーネント (IP アドレスやメールのボリュームに関する状態のレベルなど) が存在しますが、SBR スコアリング アルゴリズムで使用される厳密なコンポーネントおよびブラックリストの重みは、時間とともに変化し、独自のものになります。

SenderBase で使用される主要な DNS ベース ブラックリスト「ファミリ」には、以下が含まれます。

- SpamCop : www.spamcop.net
- SBL (SpamHaus ブロックリスト) : www.spamhaus.org
- PBL (Spamhaus ポリシー ブロックリスト)
- NJABL (特別なブラックリスト) : www.njabl.org
- SORBS (スпамおよびオープン リレー ブロッキング システム) : www.sorbs.net
- OPM (オープン プロキシ モニタ リスト) : opm.blitzed.org
- CBL (コンポジット ブラックリスト) : cbl.abuseat.org
- RFC-Ignorant : rfc-ignorant.org
- Five-Ten ブロックリスト : www.five-ten-sg.com
- MAPS (トレンドマイクロ DNSBL) : www.mail-abuse.com

関連情報

- [SenderBase のよく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)